森のひろば

フォレスト・ニュース

NO.1061
26年7月

近畿中国森林管理局

大阪市北区天満橋1-8-75　TEL 050-3160-6763
http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/

トピックス

平成２６年度
第１回 近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会を開催
～増税前後の価格上下落ち着く～

松下委員長のあいさつ

【森林整備部　資源活用課】　５月３０日（金）、当局会議室において、平成２６年度第１回近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会を開催しました。

この委員会は、専門的な観点から国有林材の供給調整の必要性、実施方法等を検討するため、昨年度から始まり２年目を迎えました。

委員会では、森林管理局から管内の木材需給動向等の分析結果を説明し、各委員から所属する機関・関連業界の情勢等の説明があった後、国有林材による供給調整の必要性の有無について検討が行われました。

その結果、「今年４月からの消費税率引き上げを前にした駆け込み需要で、一時原木の価格が高騰し、住宅着工戸数も増えた。増税後は、この反動により原木はヒノキ価格が下落、スギも横ばいで推移しているが先行きは弱い傾向、また住宅着工戸数も減少に転じ、現在は、全体的に落ち着きつつある。国有林材の供給調整の必要性は認められないが、引き続き市場動向を注視していく必要がある。」との意見がまとめられました。

また、委員会からは、近畿中国圏の木材供給に係る森林管理局の国有林材のシェアは限られているが、森林管理局は、管内の木材供給等について、引き続きしっかりとしたメッセージを出していく必要があるとの意見もありました。

短期的には需給は落ち着いてきたとしながらも、長期的には需給構造が大きく変化していくと予想される中で、先行きに対する様々な情報提供や意見が出され、活発に議論していただいた会議となりました。

次回の当委員会は８月７日（木）に開催する予定です。

【出席者】（敬称略）

〇松下幸司（京都大学農学研究科准教授）［委員長］
西山久雄（和歌山県農林水産部森林・林業局林業課長）
小椋秀司（岡山県農林水産部林政課総括参事）
※吉岡課長代理
小出一博（岡山県北部素材生産協同組合代表理事）
榎本崇秀（㈱山長商店取締役副社長）
大野英輔（ひろしま木材事業協同組合専務理事）
内藤和行（日本合板工業組合連合会副会長）
難波芳英（岡山県木材組合連合会副会長）
西垣泰幸（（一社）全日本木材市場連盟副会長）

ニュース

大山森林生態系保護地域 自然観察会を開催

【鳥取森林管理署】 ５月３１日（土）、大山森林生態系保護地域である大山国有林において、自然観察会を実施しました。

今回は、昨年１１月に雨のため途中で中止を余儀なくされた前回のリベンジということで、前回と同じく健康の森遊歩道入り口から文殊越までのルートを大山森林生態系保全管理協力員４名、県内各地からの一般参加者７名の方と一緒に散策しました。リベンジの回にふさわしく、当日は快晴で気温も30度近くまで上がり、暑いぐらいの天候でしたが、谷部にはまだ残雪が見られる箇所もあり、ひんやりと気持ちの良いブナの二次林の中を大山森林生態系保全管理協力員の方々から動植物の解説を受けながら、ゆっくりと進みました。勢いよく葉を展開させ始めたばかりの緑鮮やかな木々を楽しみ、足元にひっそりと咲く草花やブナの芽生えに春の訪れを感じながら、クロジやウグイス、ジュウイチなど数種類の野鳥の鳴き声を聞くことができました。

また、協力員の方々には、山での地図の見方や方角の把握の仕方、動植物のおもしろい豆知識などもたくさん紹介していただき、参加者の方々は熱心に聞き入っておられ、より一層大山地域の豊かな動植物への興味が湧いた様子でした。

今後もこのような活動を通して、大山森林生態系保護地域の自然に親しみ、学べる機会を継続していきたいと考えています。

ニッセイ員弁（いなべ）の森　育樹祭開催

【三重森林管理署】 ６月１４日（土）、三重県いなべ市北勢町に所在する悟入谷（ごにゅうだに）国有林３３わ林小班のニッセイ員弁の森で、日本生命津支社の職員を中心とする「ニッセイの森友の会」会員３０名による育樹活動が開催されました。

当署からは、署長と首席森林官が参加し、署長から国有林の取り組み、概要を説明するとともに、ボランティアによる森林整備、緑の募金の重要性等を発信した後、首席森林官より技術指導、安全指導を行い作業を開始しました。

当日は天気にも恵まれ、１０名ずつ３班に別れ、手鎌で下草刈り、つる切、鋸でクヌギ、コナラの枝打ち、クサギの伐採をしました。

普段は、デスクワークが多く、森林と接する機会の少ないニッセイの森友の会の皆さんは、当初おっかなびっくりの作業でしたが、時間とともに作業に熱中し、各自の作業量を競う等、にぎやかな雰囲気のもと心地よい汗を流しました。

作業が終わり、明るくすっきりした林内を見て、平成１５年に植樹した方々は、当時の思い出を楽しく語られていました。

アサヒの森「森と水の学習会」

【広島北部森林管理署】 ６月２日（月）、広島北部森林管理署とアサヒビール「アサヒの森環境保全事務所」（松岡洋一郎所長）は、アサヒの森及び俵原山国有林で「森と水の学習会」を、庄原市立高野小学校５・６年生児童２６名を対象に開催しました。

この学習会は、平成21年に「甲野村山地域美しい森林づくり推進協定」を署とアサヒビールが締結以降、継続して実施しているもので、ここ俵原山地域では、昨年

に続き２回目の開催となりました。

午前中は「アサヒの森」で開会し、はじめにアサヒのスタッフによる「森の子体操」で体と緊張をほぐした後、森林ボランティア団体「びほく・森のサポーターズ」による紙芝居を見たり、間伐前後の森林の違いなどを見比べたりしながら、間伐の意味や森林の大切さなどについて学びました。

また、職員から樹高の測り方の説明を受けた後、実際に現地のスギを各班に分かれて測竿や大きな三角定規などを使って測り、初めての挑戦に戸惑いながらも各班とも本職さながらに精度の高い樹高を導き出していました。

午後からは、隣接する俵原山国有林へ場所を移して、職員の解説で林内を散策し、山から湧き出る冷たい水を手で触ったり、森林の土のやわらかさを足で感じたりするなど「森林の働き」を、自分の体で感じ取っていました。

また、ウワバミソウ、イタドリなどの人との関わりがある植物やミズメ、ゴマギなどのちょっと変わった臭いのある植物は、何度も繰り返し説明を聴いて熱心にメモをとっていました。

最後に児童から「森林の働きや、水や木の大切さなど実際に学ぶことが出来た。」「湿布の臭いやレモンの香りがする木があることを初めて知った。自分の住んでいる周りでも色々探してみたい。」などの感想がよせられました。

閉会にあたり校長先生から「山に近いところに住んでいるけど、知らないことも多い。今日の体験や学んだことを家族の方にお話して下さい。」と児童らに呼びかけて締めくくられました。

「夜叉ヶ池山開き」が開催

【福井森林管理署】

６月１日（日）、「夜叉ケ池山開き」（南越前町今庄観光協会主催）が、福井県南越前町の夜叉ケ池登山口において開催され、福井森林管理署も参加しました。当日は、今年１年の山の安全祈願をした後、県内外から集まった約５０名が「夜叉ヶ池」を目指しました。

「夜叉ヶ池」は、岩谷国有林の中にあり、周囲２７０m、水深８mの池ですが、この池に流れ込む川は無く、水源は雨水と周囲の森林からの伏流水だけです。この池が水を保つ事ができるのは、雨水や雪解け水を森林が貯えているからです。

「夜叉ヶ池」には、美しい娘を嫁がせると雨を降らせてくれる龍神が棲んでいるという伝説がありますが、今は、１センチ弱の「ヤシャゲンゴロウ」が棲んでいることで有名です。

龍神が棲んでいた時代には、神聖な場所で、滅多に人が訪れることは、ありませんでしたが、現在は夜叉ヶ池の神秘的な美しさに魅かれる登山者の急増で水質環境が悪化し、「ヤシャゲンゴロウ」の絶滅が危惧されるようになっています。

このため、福井森林管理署では、「夜叉ヶ池」の環境を守り、人と自然の共生を図ることができるように、池の周辺１６haを保護林に設定するとともに、木道を設置し、モニタリング調査を継続的に実施しています。また、本年度も地元の人たちによるボランティア活動でパトロールと登山者へのマナーの啓発活動も行うこととしています。

平成２６年度 第６８回大山夏山開き祭

【鳥取森林管理署】 ６月７日（土）・８日（日）、大山町、伯耆町、江府町に跨る大山国有林の山頂で、大山夏山開き祭実行委員会が主催する夏山開きが開催され、署長と森林官が参加しました。

７日（土）の前夜祭では、夕方より国有林に隣接する、大神山神社奥宮で登山の安全祈願を行い、午後７時半、約２，０００本のたいまつにご神火を移し、境内をスタート。約１．５キロ先の博労座駐車場まで大山寺の参道を歩いて降りて行きました。

暗闇の中で、石畳の参道をたいまつ行列する姿は神秘的な光景で、参道べりでは一般の方々が、炎が帯のように連なる写真を撮影をしていました。

翌８日（日）は、１０時から大山山頂で登山者の安全を祈願する、山頂祭神事を行うため、６時３０分に大山治山事業所を出発しました。約２時間３０分の登山コースですが、大山登山が始めての方や何回も登頂されている方など、各自自分のペースで山頂を目指します。道中のすれ違いでは朝の御来光に合わせて登山された方々と、お互い挨拶を交わす、すこやかな交流も楽しいものです。

大山町長の挨拶

当日は、朝からあいにくの空模様となり、９時過ぎに山頂避難小屋に着くころには雨が降り出し、小屋の中で雨具を着用し、神職さんの登頂を待って１０時より神事が執り行われました。

山頂で行われた、山頂祭神事には県内外より数百人が参列し、神職の祝辞に続き、署長ら関係者の玉串がささげられ、登山者の安全を祈りました。

終了後、足元に気をつけながら無事に下山をすることが出来、２日間の心地よい疲れとともに、明日からの無事故・無災害を誓い帰路に着きました。

最後に、大山（標高１７０９メートル）は、伯耆富士ともよばれ、中国地方最高峰の国立公園です。登山道も整備されており、これからの季節、初心者の方でも安全に登山が出来ると思いますので、是非お越しください。

治山・林道工事コンクールの開催 ～高品質の工事を評価～

【森林整備部 森林整備課】 ６月５日（木）、近畿中国森林管理局局長室において、平成２５年度治山・林道工事コンクール表彰式を開催しました。

このコンクールは、管内の各森林管理署等で発注し、平成２４年度に完成した治山工事及び林道工事の中から、一定規模以上の工事を対象として、発注した各森林管理署等による審査結果、工事成績、工事の施工管理記録写真を基に、受注者の工事内容の理解度、写真や施工記録の整理、編集状況、全体の出来高状況、労働安全対策、環境対策等への取組状況について外部委員を交えた審査を行います。審査の結果、高い評価を得られた工事を森林管理局長が表彰し、さらにより高い評価を得られた工事については、林野庁長官が表彰することにより、関係者の意欲高揚を図り、治山工事及び林道工事の適正化並びに施工技術や設計技術の向上に資することを目的としています。

受賞工事は以下のとおりです。（敬称略）

○優良工事（森林管理局長表彰工事）
第一部門（林道）
- 「滑山野夫第一林業専用道新設工事」株式会社井原組

第二部門（治山）
- 「高嶺芦谷（アゾウジ谷）第４号渓間外工事」開盛建設株式会社
- 「城山山腹工事」株式会社ミヤベ

○優秀工事（林野庁長官表彰工事）
第一部門（林道）
- 「中津（鉛山）林業専用道新設工事」を担当した株式会社井木組の主任技術者、鳥取森林管理署の監督職員

第二部門（治山）
- 「一本松山渓間工事」を担当した廣濱建設株式会社の主任技術者、広島森林管理署の監督職員
- 「北潟施設災害対策工事（２－１号地）」を担当した株式会社山内建設の主任技術者、福井森林管理署の監督職員

受賞工事はいずれも施工場所が豪雪地や急傾斜地、或いは民家等に隣接するなど作業条件が厳しい中で、確かな技術に基づく施工の丁寧さ、仕上がりの良さなど品質確保に努められていたことが高評価に繋がりました。

中学生が職場体験！

【岡山森林管理署】 ６月４日（水）から６日（金）までの３日間、職場体験学習として津山市立加茂中学校２年生２名を受け入れました。

１日目、生徒たちは、岡山森林管理署の概要、日程、注意事項などの説明を受けた後、津山市加茂町黒木国有林へ向かいました。ダムから国有林を遠望し、山と図面を見比べ谷や尾根等の確認を行いました。その後、職員と同じくヘルメットや長靴、軍手をつけ腰にナタやノコギリ、熊よけの鈴を下げ、山の中へと向かい、保育間伐の標準地調査と間伐を体験しました。標準地調査では、巻尺とコンパスを使用して標準地を設け、ヒノキの径級・高さを計測しました。間伐は木の位置や大きさ等を考えて選木し、１人１本伐採しました。途中「疲れた」などの言葉も出ていましたが、木を切った直後は疲労の中にも嬉しそうな顔をしているのが印象的でした。

２日目は、津山綜合木材市場で、木材市売りを見学しました。丸太が山積みの光景に生徒たちは驚いていました。ここでは、スギやヒノキの見分け方や木材の利点等について説明を行いました。

午後からは、森林管理署内での事務作業を行いました。現場作業だけではなく、そこから得られた情報を集計し、処理しなくてはいけないことを身をもって体験してもらいました。普段はパソコンを使う機会が少ないようで、終盤にかけて疲労が見えました。

最終日の３日目は、林道の整備を行いました。林道の側溝掃除では、昨夜の雨の影響でつまった泥や落ち葉を撤去しました。予定していた箇所全てを掃除するのは難しいだろうと考えていましたが、生徒たちは協力して作業を効率的に行ったため、予定した時間内に側溝掃除を完了することが出来ました。昼休憩後は、職場体験の最後の作業として、林道内の転石除去を行いました。この作業でも二人で協力して効率的に行いました。最後に事務所に戻って、職場体験での感想を聞き、無事３日間の職場体験を終了しました。

今回の職場体験学習は、生徒同士で役割を分担しながら、効率的に一生懸命作業している姿が印象的で、職員も学ぶ点が多々あり、職員一同感心しました。

生徒たちには、協力し合う大切さ、山を守ることの大変さや重要さをこの３日間でわかって貰えたと思います。今回の経験を役立て、これからの学校生活を実りのあるものにしてほしいと思います。

第26回森林レクリエーション地域美化活動コンクール受賞

【福井森林管理署】 ６月５日（木）、福井森林管理署とボランティア協定を締結している「夜叉ヶ池パトロール員の会」が、林野会館（東京都文京区）で行われた第２６回森林レクリエーション地域美化活動コンクール表彰式において、「全国森林レクリエーション協会会長賞」を受賞しました。

夜叉ヶ池には、国内希少野生動植物種（絶滅危惧Ⅰ類）であるヤシャゲンゴロウが生息しており、池の水質環境が悪化すれば、絶滅してしまうおそれがあることから、登山者に対し利用マナーの啓発活動が必要となっています。そのためパトロール員の会は、登山者への啓発活動を長年にわたり続けてきました。今回の表彰は、この活動が高く評価されたものです。

林野庁長官・受賞者・レクリエーション協会長

福井森林管理署では、保護林の保全活動は、地元市民や地元市民団体との連携により実現するもので、これからも夜叉ヶ池パトロール員の会との連携と協力により夜叉ヶ池の環境保全活動を続けていくこととしています。

遊々の森「森の幼稚園ひかり」で森林教室を開催

【奈良森林管理事務所】 ひかり幼稚園は、５月３１日（土）、奈良市の大亀谷国有林内に設定している遊々の森「森の幼稚園ひかり」において、年長園児を対象に森林教室を開催しました。

ひかり幼稚園では、園児たちに森林の中で自然とふれあう体験を通して、自然を大切にする気持ちを育むことを目的に、幼稚園近くの大亀谷国有林を自然体験などのフィールドとして活用するため、奈良森林管理事務所と遊々の森協定を締結しています。さらに、自然体験活動がより効果的なものとなるよう支援する赤膚ネイチャークラブを加えた協定としているところです。

当日は、年長園児４８名と保護者合わせて１００名余りが参加し、赤膚ネイチャークラブ代表のリングホーファー・マンフレッド氏から平成２５年度に実施した大亀谷国有林植生等調査報告書を活用して作成したパネルによる国有林内に生息する昆虫の説明や「フィールドビンゴ」などのネイチャーゲームが行われました。

園児たちは、普段の生活の中では目にすることの少ない昆虫に興味を示したり、森林の中にある様々なものを探すことにより、自然を肌で感じることができました。

フィールドビンゴでは、森林内にある形や物を探すためにお父さんやお母さんと一緒になって色々な角度から観察し、大人では気づかないところにある物を見つけるなど子供の観察力のすごさに驚かされる場面もありました。

園児たちは、自然の中でお父さんお母さんと楽しい一時を過ごし、森に対する興味を深めてくれました。

お知らせ

見て・さわって・樹木と友だちになろう ～夏休みの工作もできちゃうよ！～

「木と緑の相談室」では、季節ごとに木と緑を楽しむイベントを開催しています。

＊ 募集期間
平成２６年７月１日から　先着３０名

＊ 日時と定員
８月３日（日）　各１５名
１０：００～１２：００　１３：３０～１５：３０

＊ プログラム
・木の不思議を発見しよう
・クラフト工作（木の実や小枝を使います。）
・丸太切り体験とパズル作り

＊ その他
子供から大人まで、どなたでも参加できます。
参加費は、１人３００円（材料費、保険代として）
会場に駐車種ペースはございません。

＊ 応募方法
以下について､FAX又はメールにてご連絡ください。
１．お名前、年齢
２．代表の方の住所、電話番号（必ず連絡がつくもの。）、メールアドレス
３．希望時間帯（午前または午後）

＊ 応募先・問い合わせ先
技術普及課　TEL：06-6881-3484
HP：http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/sodansitu/index.html

平成２６年度「森林の調査隊！！フォトコンテスト」作品募集

箕面森林ふれあい推進センターでは、フォトコンテストの作品を募集中です！
皆さんのご応募をお待ちしております！！

＊ 募集締め切り
１０月６日（当日消印有効）

＊ 募集テーマ
① 「身近な森で見つけた動植物（昆虫・動物・植物）」部門
② 「森林と人との関わり」部門

＊ 各賞
林野庁鑑賞・里山賞・審査員特別賞　各１作品
近畿中国森林管理局長賞　７作品

＊ その他
※募集作品は未発表作品に限ります。

＊ 応募先・問い合わせ先
箕面森林ふれあい推進センター
TEL：06-6881-2013（平日８：３０～１７：００）
HP：http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/

「水都おおさか森林（もり）の市2014」
出展団体を募集します！

「水都おおさか森林の市２０１４」の開催に向けて、趣旨に賛同していただける法人、企業、団体等からの出展を募集しております。

森林の恵みや木の良さに触れ、森林の大切さ、林業の役割、農山村の現状について、来場者に楽しみながら知って頂ける一日にしたいと考えています。

森林づくり活動の紹介や、木の良さに触れる体験、地域の特産品のPR、林産物の販売等、幅広い出展をお待ちしております。

＊ 募集期間
平成２６年７月３０日
（メール・FAX：３０日中、郵送：消印有効）

＊ 日時
２０１４年１０月５日（日）１０時～１６時
雨天決行（荒天中止）

＊ テーマ
「木の魅力　木の不思議　桜ノ宮で森林(もり)を感じて！」

＊ 申込み
ホームページの「出展募集要領」をよくご確認いただき、「出展申込書」に必要事項をご記入のうえ、郵送・FAX・メールでお送り下さい。

＊ その他
出展料はかかりません。（ただし、テント等を含む出店に関する費用はご負担下さい。）
出展団体の決定は、８月下旬を目途に、事務局よりお知らせいたします。

＊ お問い合わせ先
水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会事務局
近畿中国森林管理局　技術普及課　担当：今井、高階
TEL：050-3160-6753

＊ 詳しくは、ホームページをご覧ください。
http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/morinoichi/index.html

森林（もり）のギャラリー（局庁舎1階）

【7月の展示スケジュール】
テーマ：世界遺産展

6/30～7/11　歴史と精神に恵まれた高野霊木・1200年の森林で癒される森林セラピー
【高野山寺領森林組合】

6/30～7/11　木工作品（鳥のモビール等）の展示
【workshop WATER" 上善水如 "】

7/14～7/25　富士山・世界文化遺産展
【山梨県大阪事務所・静岡県大阪事務所】

7/27～8/2　ドールハウス五番街作品展 in 大阪
【ドールハウス五番街】

平成２６年度
山地災害防止標語及び写真コンクール

山地災害に対する国民の理解と関心を深める為、林野庁、都道府県及び市町村が行う「山地災害防止キャンペーン」の関連行事として、標語及び写真の作品を募集しています。

＊ 募集締め切り
９月３０日（当日消印有効）

＊ 募集テーマ
〇標語コンクール
山地災害の防止、森林や治山事業の効果、防災意識の高揚などを広く国民に呼びかけるもの
〇写真コンクール
ア．山地災害を防止する治山施設や治山事業
イ．防災パトロールや避難訓練など、山地災害防止活動の状況
ウ．山地災害の状況、その他山地災害に関連あるもので地域や人々の生活との関連が表現されているもの

＊ 応募資格
自作作品に限り、どなたでも何点でも応募できます。

＊ 発表
入選作品の決定後、平成２７年１月に入賞者に通知し、HPで発表します。

＊ 応募及びお問い合わせ先
（一社）日本治山治水協会　標語・写真コンクール係
TEL：03-3581-2288
HP：http://www.shinrinkagaku.jp/photo/index.html

花草木

今月の花草木はビワです。

初夏になると青果コーナーに並び始めるビワは季節感を感じさせてくれる果物のひとつです。

ビワは、バラ科の常緑高木およびその果実を言います。原産は中国南西部で、日本には古代に持ち込まれたと考えられています。

古くから果実だけでなく葉（枇杷葉）も薬として利用されており、咳止めやがん予防に効果があるといわれ、また、皮膚疾患やかぶれなどにも有効とされます。

木材としては、乾燥させると非常に硬い上に粘りが強く、昔から杖の材料として利用され、激しく打ち合わせても折れることがないことから、剣道・剣術用の高級な木刀として利用されています。

シリーズ 保護林 第13回

近畿中国森林管理局の保護林

釜ヶ峰林木遺伝資源保存林（かまがみね） ［江の川上流森林計画区］

アベマキの群生林

釜ヶ峰林木遺伝資源保存林は、広島県庄原市にあり、釜ヶ峰山の西南部に位置しています。

当保護林は、保存対象樹種のアベマキ、アカマツをはじめ、その他希少樹種等の天然分布地を保護し、林木の遺伝資源を保存することを目的として設定しています。

当保護林は、面積５．４１ha で、水源かん養保安林に指定されています。

当保護林の植生は、保存対象樹種であるアベマキが林冠を形成しており、そのほかイヌシデやオオバザサ、リョウブなど多くの植物が見られます。

アベマキの大径木

林内の様子

【釜ヶ峰林木遺伝資源保存林に生育する動植物】

◎植物：アベマキ、アカマツ、イヌシデ、リョウブ、アオハダ、オオモミジ、ダンコウバイ、クロモジ、コウヤボウキ、アセビ、ミヤマシキミ、オオバザサ、コバノミツバツツジ、シシガシラなど

【釜ヶ峰林木遺伝資源保存林へのアクセス】

◎県道６２号線から・・・伊与谷林道をのぼり、釜ヶ峰登山口にアクセスします。
登山道は、登山口付近の案内看板から保護林です。

アベマキ
Quercus variabilis

アカマツ
Pinus densiflora

【保護林及び国有林内での注意事項】

★国有林内の動植物の捕獲、採集はできません。
★国有林内では火気厳禁です。林内では禁煙にご協力ください。
★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。
★林道は幅が狭い未舗装の所がほとんどです。落石の危険性もあります。注意して通行してください。